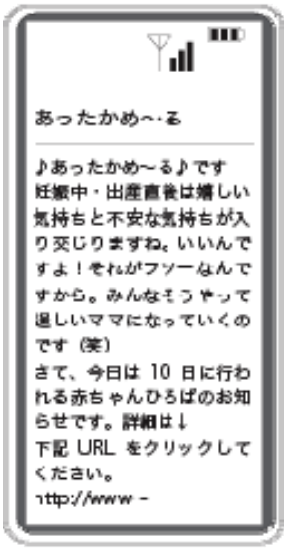
子育て応援「あったかめ～る」

亀岡子育てネットワーク

あったかめ～るキャラクター
あったかちゃん



こんな感じで届きます！

子育て情報のメール配信で育児不安を軽減

亀岡子育てネットワークは、「こども」をキーワードに情報交換や交流をし、「子育て支援」や「親支援」の活動を企画立案・運営している団体です。メンバーは、子育てを体験してきた方から現在真っ最中の方まで、様々な分野で活動をされている方々です。今までに培ってきた子育て支援のノウハウと、自分たちが欲しかった「こんなことをやってみたい」という想いをかたちにして、講座や催しなどを企画・実施されています。当事者ならではのニーズにマッチした内容が好評を得ています。

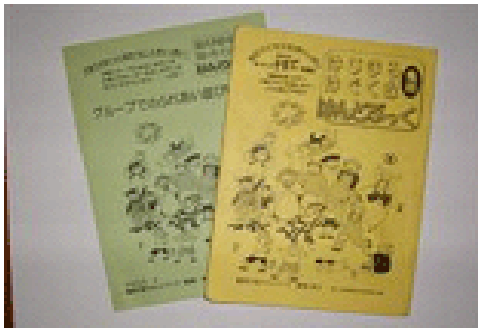
平成十九年六月からは、育児で孤独になりがちな方々に必要な情報を提供しようと、子育てに役立つ情報のメール配信をスタートされました。「一人じゃないんだと気づいてもらいたい」との想いがこもったあたたかい書きぶりは、まるで友達からのメールのようで、口コミ情報をもらったように、すでに登録者数は三百五十人を突破しています。

亀岡が子育てしやすい町になるようにとの願いを込めて、活動は続いていきます。

〈写真説明〉上段：あったかめ～るのキャラクターとメール見本
中・下段：ゆりかごひろばの様子

DATA

＜連絡先＞
TEL 0771-22-4588　FAX 0771-22-4588
e-mail　kameokakosodate@attaka-mail.net
HPアドレス　http://kameoka-konet.attaka-mail.net/
＜代表者＞
田中美賀子（代表）
＜設立時期＞
平成１１年１月
＜活動内容＞
子育てメール情報「あったかめ～る」の配信、子育てひろば（ゆりかごひろば）の開催、託児付の各種講演会・講座の開催、
あそびのサポーターによるあそびの出前



子育て情報誌「はじまる　はぐくむ　はんどぶっく

▲ひすとりー

H10　亀岡子育てネットワーク発足。
H11　亀岡で初の「子育てサークル交流会」を開催。
H12　子育て中の方の井戸端会議「ママとパパのゆりかごひろば」の定期開催。
H13　子育て口コミ情報誌の作成着手。
H14　亀岡市域の子育て情報誌「はじまる　はぐくむ　はんどぶっく」完成発刊。（最終発行部数1，300部）
H15　親育ての講座「親を楽しむ小さな魔法」などの開催。
H16　子育て出前サポーター養成講座の開催。
H17　子育て出前サポーターの実践。
H18　スタッフ研修の開始。
H19　携帯メール情報配信事業「あったかめ～る」開始。
　　市立一の宮幼稚園で「たんたんひろば」を開催。

▲代表者いんたびゅー

亀岡子育てネットワーク
代表
田中美賀子さん

○発足のきっかけは？

亀岡市が主催する男女共同参画事業の「ゆう・あいフォーラム」の子育て講座でお顔を合わせたメンバーがそれぞれの思いをかたちにしようという事で発足しました。私は当初は参加しておらず、翌年の「子育てサークル交流会」開催時から活動に加わっています。

○現在の活動までの経過は？

女性は子どもを産むと社会との接点がなくなり、孤立してしまう傾向があると思います。親子で安心して行ける場所も少ないし、「一人の人間」として話ができる場所もない。最初は、そのような親子で気軽に集まれる居場所を設けることから始めました。すると、多くの方がみな子育てに関する情報を必要としていることがわかって、自分たちで子育て情報誌を発行しようということとなりました。

○今後の活動で注意したいポイントは？

子育て支援といっても、まだまだきちんと認知されたとは言えない状況です。特に家庭内での子育ては他人には見えないので、そこをよく伝えていく必要があると思います。今後活動を広げていくためには今迄以上に広い範囲の方々と協働し、子育ての現状について知ってもらいたいと考えています。最近は中高生が乳児と触れる機会がなく、自分の子どもを持って初めて育児に関わることがほとんどですね。交流の機会を設けることでもっとスムーズに子育てできないかと考えているところです。

○情報メールの活動を始めて

よく「次のはいつ出るの」「時代が動いているからこれからは携帯メールかな」という声をかけていただくこともあり、情報には更新が必要で、おかげさまで好評をもっていただきました。

京都新聞社会福祉事業団の助成金が受けられたことをきっかけに平成十九年から子育て情報メール配信の活動を始めています。

こんなで作成しました。作成中は非常に大変でしたが、ことになりました。スタッフみ一年かけて

▲とぴっくす！

○ゆりかごひろばと託児付講座の開催

亀岡子育てネットワークでは、子育て中の人が一人の人間として過ごせる機会をつくろう」の開催です。安心して子どもを連れて行ける、友だちができる、そんな場所をめざした取組で、平成二十年度は、旧一の宮幼稚園・施設（平成二十年三月閉園）を使用して、亀岡市千歳町）を使用して、十月中旬から第一・三木曜日（祝日は除く）に開催しています。広い園庭や砂場、室内などで子どもたちが思いっきり遊べるだけでなく、参加者がほっと一息つけるようにお茶を飲めるスペースも用意されています。

組が行われています。その一つが「ゆりかごひろば」会をつくる取

もう一つの取組は「託児付講座」の開催です。これまで「感情とストレスについて知ろう」「こどもの心がいて育つ聞き方・話し方」「子育てママのための骨盤矯正ストレッチ」「遊びの中の骨盤サポーター養成講座」「子育てに関わる魅力的な内容など二十年度もされており、平成秋以降に実施されるテーマなどの使い方」などのビギングのテーマです。

★広域振興局も協働しています！

「南丹地域振興計画」では、「地域社会が一体となった見守りや支え合いの仕組みづくり（共助）を更に発展させていくことが大切としています。

南丹広域振興局では、地域で築かれてきた子育てネットワークを大切にしつつ、子育て支援者のレベルアップと地域の「子育て力」の向上を目指した「子育て支援ステップアップ講座」の開催や「きょうと子育て応援パスポート事業」協賛店の新規開拓など、地域の総合力を活かした子育て支援策を進めています。また、府南丹教育局や地元関係者などとも連携した「南丹地区小学校駅伝大会」、「南丹美術工芸教育展」などの開催により、家庭・地域・学校が相互に連携して子ども達自身の成長する力を伸ばす地域づくりを進めています。